

製品名: CCNK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08150**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	CCNK CPR4
別名	
遺伝子 ID	8812.0
SwissProt ID	O75909
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 80-160

背景

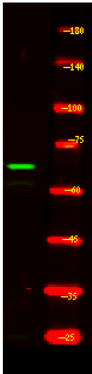
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写サイクリンファミリーのメンバーです。これらのサイクリンは、RNA ポリメラーゼ II の大サブユニットの C 末端ドメイン (CTD) をリン酸化させるサイクリン依存性キナーゼ (CDK) との会合および活性化を

介して転写を制御していると考えられます。この遺伝子産物は、CDKとRNAポリメラーゼIIの活性制御において二重の役割を果たす可能性があります。[RefSeq提供、2008年7月],機能: 転写制御において役割を果たす可能性があります。in vitroでは、RNAポリメラーゼIIのC末端ドメインとCDK2 (CAK)の両方に対するキナーゼ活性に関連しています。類似性: サイクリンファミリーに属します。サイクリンCサブファミリー。サブユニット: RNAポリメラーゼIIホロ酵素におけるサイクリン-キナーゼペアの一部。CDK9に結合します。組織特異性: 普遍的に発現します。精巢で最も多く発現します。,

研究分野

-

画像データ



HEK293の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は1:1000希釈。二次抗体は1:10000希釈。